

指揮
大友直人

Naoto Otomo, Conductor
© Rowland Krishna

ピアノ
清水和音

Kazune Shimizu, Piano
© Mana Mori

東京交響楽団

「アートキャラバン」長野公演

～オーケストラと心に響くひとときを～

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

ビゼー：「アルルの女」第2組曲、「カルメン組曲」第2組曲

2023年7月30日(日) 15:00開演 長野市芸術館メインホール
(14:15開場) (長野市大字鶴賀緑町1613番地 長野市役所第一庁舎と同じ建物)

全席指定：S席¥3,000/A席¥2,000 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

■ 蘭の会会員(電話受付のみ) / 東響会員先行発売 5/30(火) *東響会員とは...①サポート会員 ②TOKYO SYMPHONY VISAカード③定期会員の皆様です。 ■ 一般発売 6/1(木)

■ お申込み・お問合せ

オフィス・マユ 026-226-1001 (平日9:30~17:30)

<https://www.office-mayu.com>



長野市芸術館チケットセンター 026-219-3191

10:00~19:00
火曜定休

長野市芸術館チケットオンライン <https://www.nagano-arts.or.jp/>



TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00~18:00 土日祝休み)

TOKYO SYMPHONY オンラインチケット <https://tokyosymphony.jp>

※各種割引のお取扱いはありません

チケットぴあ <http://pia.jp/t/tso/> e+ (イープラス) <http://eplus.jp/tokyoso/>



〈チケットのご購入にあたっての注意事項〉※会場にて平熱と比べて1℃以上の高い発熱があることが計測された方や、発熱が続いている方はご入場をお断りいたします。※会場では常時マスクの着用をお願いいたします。※今後の状況によっては公演内容の変更や公演を中止する場合がございます。※チケットお申込み後の変更・キャンセルはお受けできません。また、一度お申込みいただいたチケットは公演中止の場合以外は、キャンセル・払い戻しができません。

新型コロナウイルス感染拡大防止に、ご協力をお願いします。

*ガイドラインの変更によって、下記内容を随時変更させていただきます。





大友 直人(指揮)

Conductor: Naoto Otomo

© Rowland Kirishima

桐朋学園在学中に22才でNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている日本を代表する指揮者のひとり。これまでに日本フィル正指揮者、大阪フィル専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督。

国外においてはロイヤルストックホルム管弦楽団、フランス国立オペラ管弦楽団、オーケストラカンヌ、オーケストラトスカーナ、ブッケーニフェスティバルオーケストラ、ルーマニア国立放送交響楽団、インディアナポリス響、コロラド響に等に度々招かれており、ハワイ響には旧ホノルル響時代から20年以上にわたり定期的に招かれている。またフィルハーモニア管弦楽団の日本ツアーの指揮者も務めた。また、東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築いたほか、数々の自主制作の企画を成功に導いた。

毎年夏に横浜で開催される国際音楽セミナーMMCJを2001年に指揮者のアラン・ギルバートとスタートさせ、共に創立音楽監督を務めるなど教育活動にも余念がない。

幅広いレパートリーでも知られ、その中でも日本を代表する邦人作曲家作品の初演やジェームス・マクミラン作品及びジョン・アダムのオペラ日本初演等は代表的に挙げられる。

小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK交響楽団指揮研究員時代にはW・サヴァリッシュ、G・ヴァント、F・ライトナー、H・プロムシュテット、H・シュタインらに学び、タングルウッドミュージックセンターではL・バーンスタイン、A・プレヴィン、I・マルケヴィチからも指導を受けた。大阪芸術大学教授。京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。



清水 和音(ピアノ)

Piano: Kazune Shimizu

© Mana Miki

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音がリリースされている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とパガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間では年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熱演。同年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇ブランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。デビュー40周年となる2021年春には「3大ピアノ協奏曲の饗宴」で、ベートーヴェン「皇帝」、チャイコフスキー第1番そしてラフマニノフ第2番の3曲を一気に披露。秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学・大学院教授。

東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミューザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取り組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、《サロメ(演奏会形式)》は音楽の友誌「コンサート・ベストテン2022」で日本のオーケストラとして最高位に選出された。

